

TAYCA REPORT

第152期 中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで



WE TRY NEW

いつも未来に挑戦

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成29年9月30日をもって、第152期の第2四半期連結累計期間を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

平成29年12月

代表取締役社長
名木田 正男



当第2四半期連結累計期間における業績のポイント

- ▶ 汎用用途の酸化チタンや機能性用途の表面処理製品の販売が引き続き好調に推移し、その他製品も概ね予想通りとなったことなどにより、増収増益。

株主の皆様への利益還元を充実させるため、当期の中間配当金は1株当たり7円とさせていただきます。

年間配当金 (平成30年3月期)

中間
7円

期末
14円* (予定)

※株式併合前株式
数に対しては7円

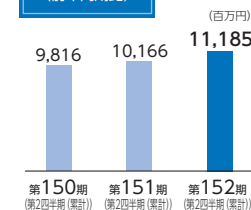
酸化チタン関連事業

- 汎用用途の酸化チタンは世界的な需給逼迫状態にあるなか、塗料・インキ向けの販売は堅調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期を上回る。
- 機能性用途の微粒子酸化チタンは販売数量、売上高ともに前年同期並みとなるも、表面処理製品は化粧品向けのインバウンド需要や輸出が好調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期を大きく上回る。

売上高

11,185 百万円
(53.9%)

10.0%増
(前年同期比)



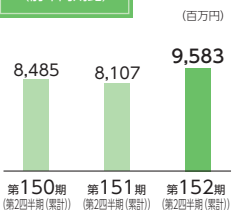
その他事業

- 界面活性剤は主用途の洗剤等日用品向けが堅調に推移し、売上高は前年同期を上回る。海外の連結子会社の販売も順調に推移し、売上高は前年同期を上回る。
- 無公害防錆顔料の売上高は前年同期並み。導電性高分子薬剤はコンデンサ向けが堅調に推移し、売上高は前年同期を上回る。
- 倉庫業の売上高は前年同期を上回る。エレクトロ・セラミックス製品は、ユーザーでの在庫調整があるも、売上高は前年同期並み。

売上高

9,583 百万円
(46.1%)

18.2%増
(前年同期比)

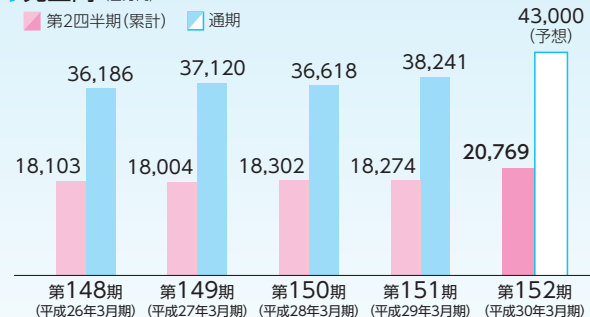


主要な事業内容	会社名
酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、赤外線遮蔽酸化チタン、光触媒用酸化チタン等の製造、販売	当社 テイカ商事(株)

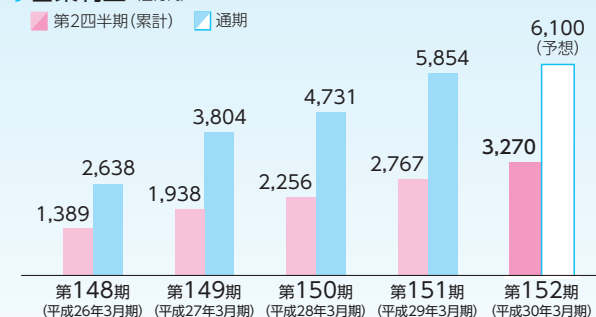
主要な事業内容	会社名
界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料、導電性高分子薬剤、エレクトロ・セラミックス製品等の製造、販売 セリサイト製品等の販売 化学工業薬品等の輸送、保管	当社 テイカ倉庫(株) テイカ商事(株) ティーエフディー(株) テイカM&M(株) ジャパンセリサイト(株) TAYCA (Thailand) Co.,Ltd. TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD.

連結財務ハイライト

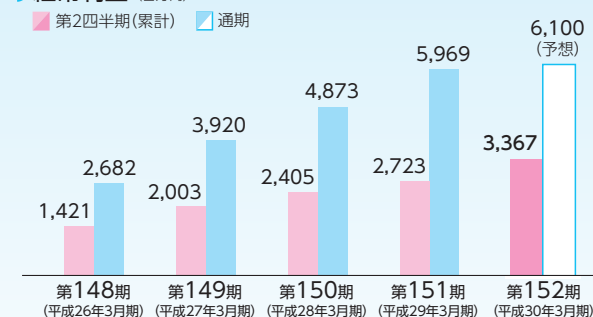
売上高 (百万円)



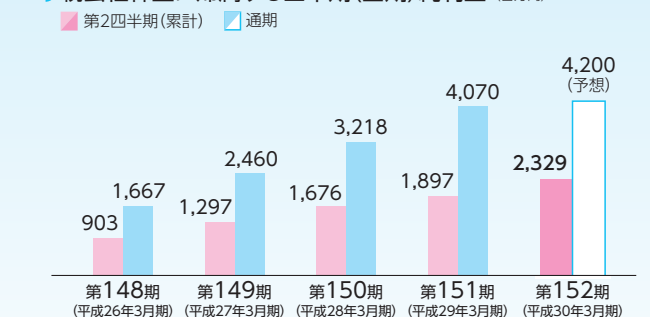
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



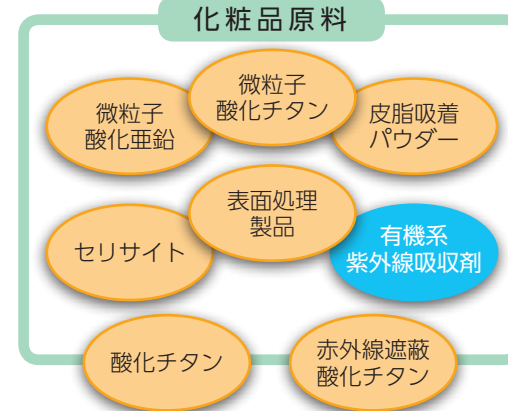
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



アシュランド社との提携

日焼け止め化粧品は無機系紫外線散乱剤と有機系紫外線吸収剤が併用された処方が一般的です。当社はこれまで酸化チタンなどの無機系紫外線散乱剤の開発・製造・販売を行っていましたが、米国アシュランド社と提携し、有機系紫外線吸収剤の国内販売も2017年5月より開始しました。

近年、図のように当社は、取り扱う化粧品原料を増やしており、日焼け止め化粧品原料メーカーから化粧品原料総合メーカーを目指す様々な取り組みを続けています。



「第8回 化粧品産業技術展 CITE Japan 2017」に出展

平成29年5月31日～6月2日にパシフィコ横浜で開催されました国内最大の化粧品原料の展示会「CITE Japan 2017」に出展しました。

【展示新製品】

- メイクの洗い落とし易さを持たせた温度応答性顔料級酸化チタン (MPY-1133SHV)
- 感触を滑らかにするセリサイトと、無機微粒子の複合化製品 (MTZE-07シリーズ)
- 有機系紫外線吸収剤と無機系紫外線散乱剤との複合化酸化チタン (HXMT-10EXB)

上記など合計16種類の新製品を展示しました。



「CITE Japan 2017」の
当社展示ブースの様子

四半期連結財務諸表

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)

前期末 平成29年3月31日現在	当第2四半期末 平成29年9月30日現在	前期末 平成29年3月31日現在	当第2四半期末 平成29年9月30日現在
現金及び預金 12,693	現金及び預金 12,840	流動負債 8,925	負債・純資産合計 57,635
有形固定資産 11,507	有形固定資産 11,256	固定負債 5,825	負債 14,751
無形固定資産 49	無形固定資産 46	株主資本 34,047	純資産 39,224
投資 その他の資産 10,857	投資 その他の資産 12,532	その他の包括 利益累計額 4,967	純資産 42,485
資産合計 53,975	資産合計 57,635	流動負債 8,925	負債・純資産合計 57,635
流動資産 31,561	流動資産 33,800	固定負債 5,825	負債 15,149
固定資産 22,414	固定資産 23,835	株主資本 36,091	純資産 42,485
		その他の包括 利益累計額 6,143	
		非支配株主持分 251	

POINT

資産及び負債・純資産合計

資産合計(総資産)は、受取手形及び売掛金・投資有価証券の増加により、前期末に比べ36億5千9百万円増加しました。負債合計は、支払手形及び買掛金の増加により、前期末に比べ3億9千8百万円増加しました。純資産合計は、利益剰余金・その他の有価証券評価差額金の増加により、前期末に比べ32億6千1百万円増加しました。

連結損益計算書の概要 (単位：百万円)

前第2四半期(累計) 平成28年4月1日～平成28年9月30日	当第2四半期(累計) 平成29年4月1日～平成29年9月30日
売上高 18,274	売上高 20,769
営業利益 2,767	営業利益 3,270
経常利益 2,723	営業外収益 126
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 1,897	営業外費用 30
	経常利益 3,367
	税金等調整前四半期純利益 3,306
	法人税、住民税 及び事業税 998
	法人税等 調整額 △34
	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 2,329
	非支配株主に 帰属する 四半期純利益 13

POINT 営業利益

国内外での新規市場の開拓や既存取引先との関係強化などを積極的に推進するとともに、製造原価の低減、経営全般にわたる効率化を推進し、収益の向上に取り組み、営業利益は前年同期に比べ増加しました。

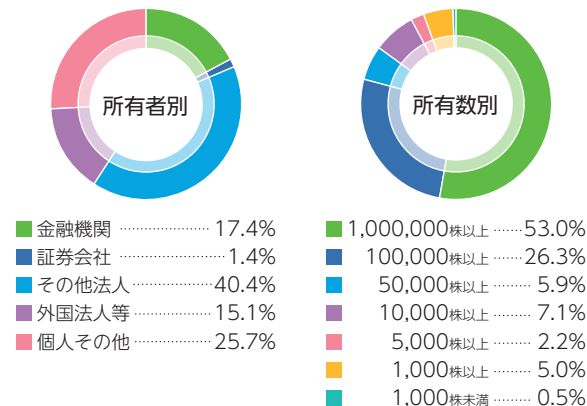
■ 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	51,428,828株
株主数	3,362名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)
三井物産株式会社	3,568
三菱商事株式会社	3,260
KBL EPB S.A.107704	3,047
山田産業株式会社	2,940
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	2,018
テイクグループ持株会	1,908
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,850
日本土地建物株式会社	1,389
関西ペイント株式会社	1,224
双日株式会社	1,000

(注) 当社は、自己株式4,405千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

■ 分布状況



■ 会社概要 (平成29年9月30日現在)

設立	大正8年12月
資本金	9,855,953,999円
従業員	481名
事業内容	各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか)

事業所	
本社事務所	大阪市中央区北浜3丁目6番13号 〒541-0041 電話(06)6208-6400(代)
本店	大阪市大正区船町1丁目3番47号 〒551-0022 電話(06)6555-3250(代)
大阪工場	
東京支店	東京都中央区日本橋3丁目8番2号 〒103-0027 電話(03)3275-0815(代)
岡山工場	岡山市東区西幸西1072番地 〒704-8136 電話(086)946-8311(代)
熊山工場	岡山県赤磐市小瀬木50番地1 〒709-0717 電話(086)995-9290(代)

役員	代表取締役社長	名木田 正 男
	常務取締役	山崎 博 史
	常務取締役	辺 見 武 志
	取締役相談役	清 野 學
	取締役	戸 澤 正 明
	取締役	西 野 雅 彦
	取締役	池 上 毅
	取締役	田 中 等
	取締役	尾 崎 ま み こ
	常勤監査役	岡 田 功 勝
	常勤監査役	宮 崎 晃
	監査役	山 田 裕 幸
	監査役	山 本 浩 二

(注) 取締役 田中 等、尾崎まみこの両氏は、社外取締役であります。常勤監査役 岡田功勝ならびに監査役 山田裕幸、山本浩二の各氏は、社外監査役であります。また、当社は株式会社東京証券取引所に対して田中 等、尾崎まみこ、山田裕幸、山本浩二の各氏を独立役員とする届出書を提出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.tayca.co.jp/ (ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

単元株式数の変更及び株式併合に関するお知らせ

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、以下のとおり単元株式数の変更及び株式併合を行いました。

単元株式数の変更

1,000株から100株に変更いたしました。

株式併合

普通株式について2株を1株に併合いたしました。

詳細は、当社ホームページに掲載しております平成29年5月12日付プレスリリース「単元株式数の変更、株式併合および定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

アドレスはこちら <http://www.tayca.co.jp/ir/pdf/20170512b.pdf>

あの日あの時

第9回

1991年8月、 酸化チタン月産1,000トン増強設備竣工

岡山工場の敷地内において、酸化チタンの月産1,000トン増強工事を1990年（平成2年）2月に着工し、1991年（平成3年）8月20日に竣工しました。この増強設備の完成によって、月産約5,000トンの生産能力を有することとなりました。



起工式 (1990年2月15日)

1995年11月、長船分工場発足

1995年（平成7年）に長船分工場（岡山県）の建設工事を開始し、その起工式を同年5月19日に行いました。長船分工場は微粒子酸化チタン等の無機粒子の表面を目的に合うよう化学物質を用いて処理し改質を行う表面処理専用工場として同年11月24日に竣工しました。



起工式 (1995年5月19日)



長船分工場 (1995年11月)
所在地:岡山県瀬戸内市長船町長船1239-1